

イチゴ育苗期のハダニ対策 土着天敵の検討

農林水産研究所

ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすく、**安定して効果の高い殺ダニ剤は限られる状況です**。自然条件下では、様々な土着天敵が、ハダニの数を制御しています。そこで、**育苗期に発生する土着天敵相を調査し、土着天敵を活用した防除体系の可能性について検証しました**。

天敵誘引トラップを用いた土着天敵の発生調査

誘引された土着天敵

ケシハネカクシ類

ハダニタマバエ類

カブリダニ類

ハダニアザミウマ

2023年
主に誘引
2024年
主に誘引

天敵誘引トラップ



インゲンマメ苗にカンザワハダニを寄生させている

ハダニアザミウマ



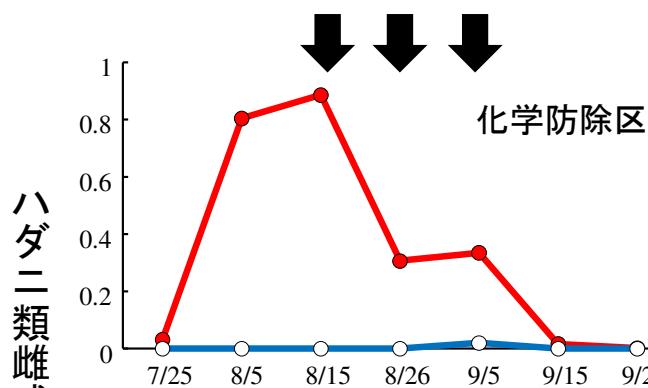
成虫



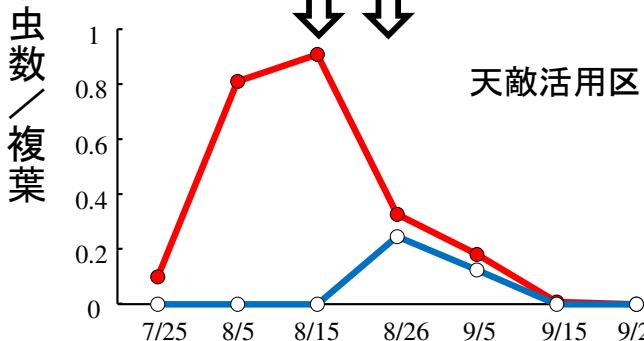
幼虫

2023年と2024年に調査した結果、上記4種の土着天敵が誘引され、**2か年ともに安定的に誘引できた土着天敵はハダニアザミウマのみでした**。

ハダニアザミウマを活用したハダニ類の密度抑制



- ↓ 天敵に影響がある薬剤で防除
- ↓ 天敵に影響が少ない薬剤で防除
- ハダニ類
- ハダニアザミウマ成幼虫



- ・ 化学防除区
→ 防除回数3回
- ・ 天敵活用区
→ 防除回数2回

土着天敵に影響の少ない薬剤を選択することで、防除回数の削減とともにハダニアザミウマを活用したハダニ類の密度低下が可能となりました。